

史跡草津宿本陣 本陣楽座

落語の上演

演者 桂壱之輔・桂弥つこ

🕒 9月18日(土) 17:30~18:30

定 30人(先着順) ￥700円

📅 9月3日(金)~、電話で

申・問 史跡草津宿本陣(草津一)

☎・FAX 561-6636

募集 #びわくさフォトコン！ 2021写真募集中

市内の魅力ある街並み・自然・歴史・文化・伝統などの写真をInstagramで募集中。入選者20人には賞品をプレゼント！詳しくは、市観光物産協会のホームページをご覧ください。

📅 12月31日(金)までに、市観光物産協会のアカウントをフォローして、「#びわくさ」「#(撮影場所)」「#2021フォトコン」をタグ付けし、写真を投稿してください

申・問 市観光物産協会(4階、商工観光労政課内)

☎566-3219、FAX 561-2486



歴史ギャラリー

草津宿場町遺跡から出土した「棹秤」

No.166

棹秤などの計量道具は、全国の城下町や流通の拠点となる遺跡から出土することが多く、この棹秤も人と物が盛んに行き来した宿場町草津の様子を示すものといえます。

これらの秤は計量販売や金銀などの両替に使用されたため、幕府によって厳しく統制され、製造・販売・修理も幕府公認の二家に限られていました。また、「秤改め」という検査制度により、規格通りであるか調べられることもありました。実際、市内でも秤改めが行われたことを伝える文献が残っています。この棹秤も念入りに改められたことでしょう。

国史跡草津宿本陣の周辺は、江戸時代の宿場町であったことから、一帯を「草津宿場町遺跡」とし、発掘調査の対象地としています。今回は、この遺跡から草津市では初めて出土した「棹秤」を紹介します。棹秤は写真のように、瓢箪型の箱に円形の皿、目盛りが入った棒(棹)、錘がコンパクト(収納時の残存部最大長23.8cm)に収納されています。棒につけた取っ手の紐を支点にして、一方に皿を吊るして量る物を乗せ、もう一方に吊るした錘の位置を動かすことで、釣り合った位置の目盛りを読み取ります。分銅を用いて正確に計量でき、「てんびん秤」と比べて、計測の精度では劣りますが、1つの錘で重さを量ることができ、持ち運びに便利な道具でした。



▲草津宿場町遺跡出土「棹秤」

問 歴史文化財課(6階) ☎561-2429、FAX 561-2488

Kusatsu Information

いつでもどこでも「広報くさつ」



市ホームページ



ラジオえふえむ草津
(FM78.5MHz)
「声の広報」

スマートフォン用アプリ



●マチイロ
●SideBooks
(ちいき本棚)

草津市メール配信サービス

市の情報を
メールで配信
するサービス



市公式ソーシャルメディア！



イベントや市政情報、
窓口の混雑状況、
災害時の緊急情報などを配信！



くさつチャンネル

さまざまな動画を配信。
びわ湖放送(BBC)で放送されて
いる草津スケッチもこちらから！



市花
アオバノ



市の木
キンモクセイ

7月31日現在(対前月比)

●人口137,076人(+38) ●世帯数61,408世帯(+14)
●男68,789人(-4) ●女68,287人(+42)